

MIREC

Kyoto-Maizuru Ritsumeikan Institute of Regional Creation

平成17年度 全国都市再生モデル調査

「北東アジア地域情報館」構築を目指した 地域創造戦略調査

日時:平成18年12月1日(金)

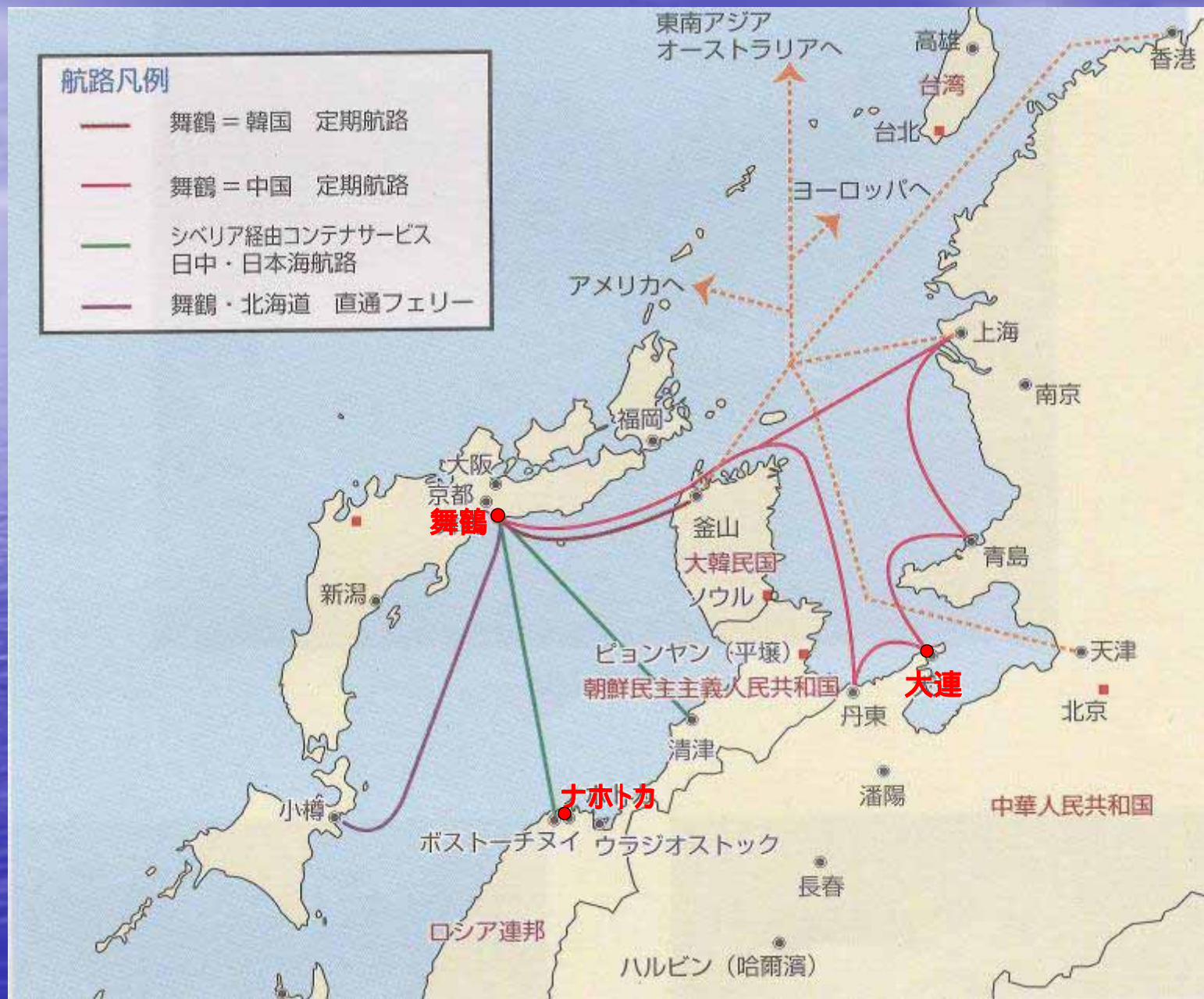
場所:三田共用会議所

舞鶴市 経済部 産業振興室
働く場の創出グループ

舞鶴の紹介

- 人口約94,000人、重要港湾「京都舞鶴港」を擁し、古来から日本海の交流の拠点
- 戦国武将細川幽斎が開いた城下町である西地区と、明治34年の鎮守府開庁により軍都となった東地区が、昭和18年に合併し誕生。
- 現在も、海上自衛隊舞鶴地方総監部、第八管区海上保安本部、舞鶴海洋気象台など、海事関係の重要施設が数多く所在。
- 旧海軍工廠時代から続く「造船城下町」として、市内に多数の機械金属産業が集積
- ロシア・ナホトカ市、中国・大連市、英国・ポーツマスとの姉妹・友好都市交流をはじめとして、北東アジア地域との連携・交流を推進。

世界にはばたく「交流」ネットワーク都市



舞鶴の都市戦略と地域戦略

- 「住民満足度日本一のまち」の実現
- 4年制大学のないまちにおける大学等高等教育機関との連携
- 対岸諸国との連携交流強化による地域産業活性化
- 地域の歴史資産「赤れんが倉庫群」の利活用
- (仮称)和田埠頭の完成を見据えた港湾の多機能化



平成16年7月 地域経済活性化に向けた、仕掛づくり、種まきを目的とした組織

京都・まいづる立命館地域創造機(MIREC)を設立

MIREC

平成17年度 都市再生モデル調査事業の概要

- 京都舞鶴港を拠点とした北東アジア地域との「人・もの・情報」の実際の流れづくり

「情報」の流れづくり

「もの」の流れづくり

「人」の流れづくり

それぞれのアクションプログラムの実施と評価



舞鶴における「北東アジア地域情報館」構想の具現化

(1)「情報」の流れづくり

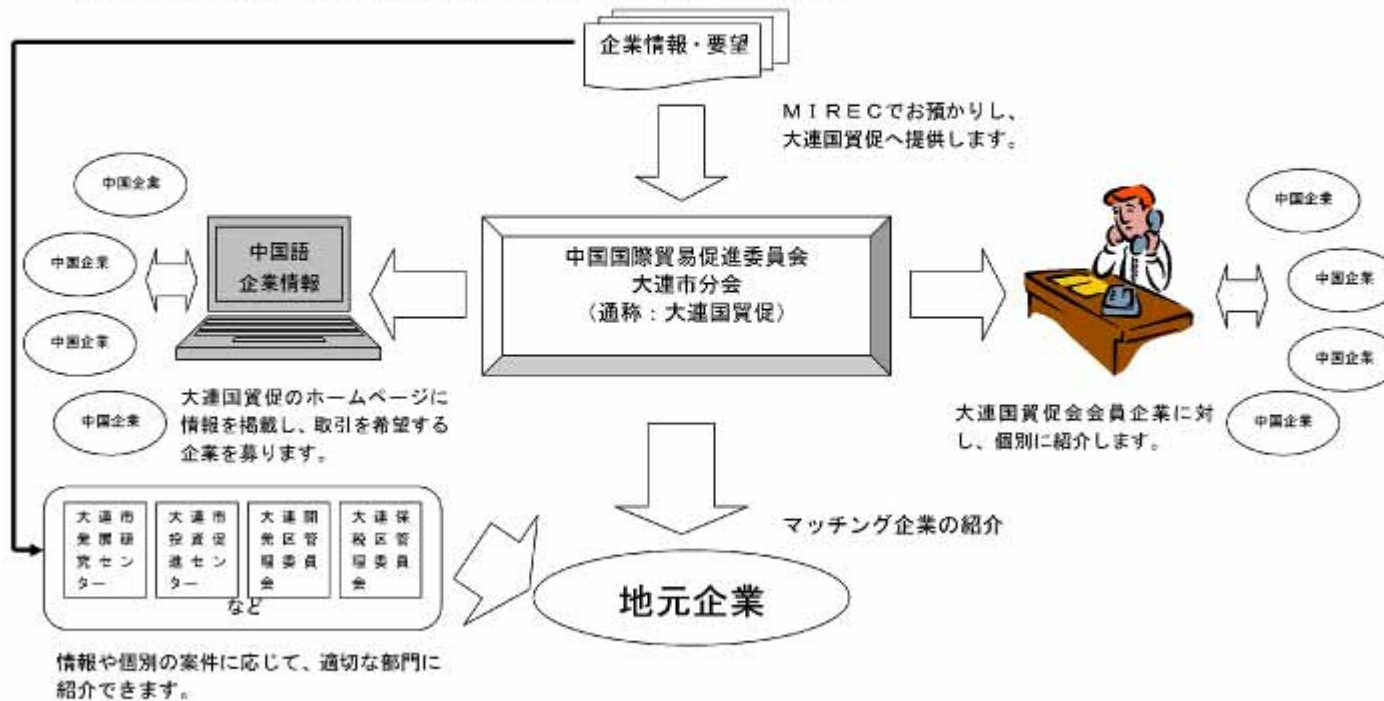
地域内の対中国ビジネス環境づくり

- 地域内企業実態ヒアリング調査
- 中国人スタッフによる中国ビジネス相談
- 対中国ビジネスマッチングシステムの構築
- 中国に向けた舞鶴市企業情報の
ホームページによる発信

対中国ビジネスマッチングシステムフロー図

ビジネスマッチングの仕組み（フロー図）

皆様からいただいた情報・要望は、以下の方法で中国企業とのマッチングを図ります。



舞鶴企業情報 ホームページ (中国語版)での 発信

舞鶴企業情報 - Netscape

http://www.mirec.or.jp/matchina/c/index.html

日本語・日本語

舞鶴企業情報

舞鶴市は接近日本の日本海一側中央位置の港口城市、也是拥有自然条件优越的“京都舞鶴港”、背靠包含京都、大阪等城市的“京阪神经济圈”的物流枢纽城市。
大连市和舞鶴市于1982年结成友好城市以来20多年间，一直保持着密切的合作关系，不仅人员往来频繁，还在广泛的领域开展了市民友好交流。
近年来，特别是在与大连港之间的定期集装箱航线开通以后，舞鶴市推出了“在继续开展市民交流的同时，加强经贸交流与合作”的新方针。
舞鶴市以及周边地区，自古以来便聚集了大量造船产业关联企业，其中还包含了很多拥有高新技术的企业。
这里，请允许我们向大连地区为首的中国境内的企业界朋友们，介绍舞鶴市及周边地区希望与大连市及中国境内的企业界进行行业务合作和交流的部分企业信息。
欢迎各位浏览，并将您的意见、要求和相关信息提供给我们。
另外，关于在此介绍的业务内容以外的要求和商洽，及寻求贸易合作的业务内容和商品信息，我们也非常愿随时配合接洽。

本项业务的联络人及联络方法：

中国贸易促进委员会大连市分会 商务咨询部 宋杏梅
电话：+86-411-82652643、82812525
传真：+86-411-82643422
邮件地址：businessccpit@dl.gov.cn

大连市投资促进中心 信息部 朱宗华
电话：+86-411-83608458
邮件地址：zonghua@dalian-gov.net

特别提示：为方便工作，请务必与上述联络人先取得联系。切勿直接与企业联系。我们会及时准确地传递信息、配合协调！

京都舞鶴立命馆地域创造机构(MIREC) [\(中国语版组织向导\(pdf形式\)\)](#)

企業	種別
田中制鐵股份有限公司	全能試驗機床為主的機械製造
平和精工股份有限公司	壓力容器、鋼構造物、精密板金、熱交換器、橋梁的建造銷售
江波精密機械股份有限公司	沖壓模具、精密機械的設計製造
舞鶴測量儀器股份有限公司	各種船舶用儀器儀表、產業用省力型機器的保養維修及銷售
谷村實業股份有限公司	綜合批發銷售業（鋼鐵產品、建材、生活資材、產業機械）

MIREC

(2)「もの」の流れづくり

北東アジア諸国への水環境ビジネスの 展開をにらんだ新技術・新商品開発

- 「Made in まいづる」の製品の中国向け販売
- 災害時に利用可能な水質浄化システムの
研究開発(市内企業と高専との連携)
- 目利き委員会の開催
- 日中間の中小企業の連携

「Made in まいづる」の製品の中国向け販売



大連市の専門家による市内企業との情報交流

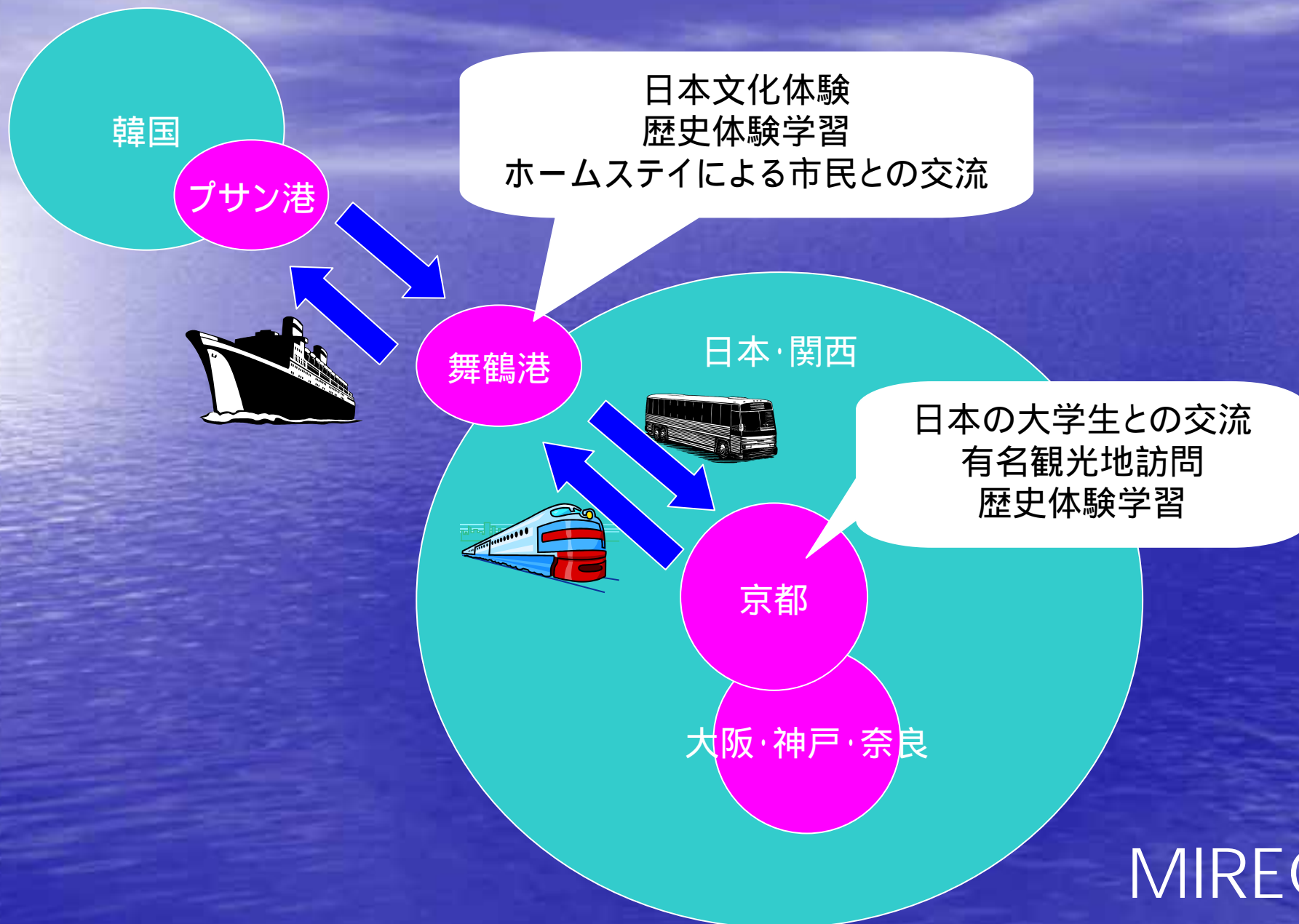


(3)「人」の流れづくり 北東アジア諸国からの 国際観光の誘致可能性調査

韓国からの訪日教育旅行モデルツアー

- 平成18年2月2日(木)～2月9日(木) 7泊8日
- 大学生対象の「日本文化体験ツアー」に、韓国から 15名の大学生等が参加。
- 一般家庭へのホームステイや体験講座、日本の大学生や市民との交流プログラムなどを実施し、ニーズ調査や有効性の検証を行った。

韓国からの訪日教育旅行モデルツアー



韓国からの訪日教育旅行モデルツアー



韓国からの訪日教育旅行モデルツアー



MIREC

産業連関分析の手法を使った 事業効果測定

- 移輸出実態調査の実施による
市内の産業構造の分析
- 「舞鶴地域産業連関表」の作成

効果測定結果 (「もの」の流れづくり)

「メイドイン舞鶴」の製品が中国へ輸出された場合の地域経済への波及効果

製品A(浄水器)
価格 15万円

×

5,000台

=

7億5,000万円

現状の産業構造では、波及効果の大部分が市外へ流出してしまう！！
【原因】原材料は100%市外から調達・大阪の大手商社を通じて輸出

市内に落ちるのは、**人件費の1億5千万円のみ!!**
これによる市内全体への経済波及効果は約2億円

もし、市外への流出を食い止められたら！！

原材料を市内業者から調達 市内の商社機能を育成

その場合の市内産業全体への経済波及効果は
約10億円

効果測定結果 (「人」の流れづくり)

国際修学旅行の誘客による地域経済への波及効果
(仮定)年間600人の修学旅行生を舞鶴市で受入れた場合

【直接経費】 一人あたりの滞在経費 約11万円×600人=6,600万円



現状では、舞鶴市に落ちるのは 約3,123万円
(半分以上が市外へ流出)

効果を上げるには、
市内の観光産業の育成が必要

成果と課題

- 地域内企業実態調査により、地域内における国際競争力のある技術集積を確認することが出来たが、具体的なビジネスマッチングシステムの構築には、商談やマーケティング力などといった地域内の「商社的機能」の育成が必要。
- 地域中小企業内での技術革新に対応し戦略を現実に実行できる「ものづくり設計力」を持った人材の育成
- 国際観光誘客については、将来の京都舞鶴港への旅客船による誘客を目標としたが、韓国の高いニーズやプログラムの有効性は確認できたものの、京都舞鶴港の利用という点では、大阪港の定期フェリーの利用であったため検証できなかった。今後、舞鶴港への客船航路誘致について、試行的実施の積み重ねによる課題の洗い出しが求められている。
- また、地域内での観光サービス産業の育成が必要

平成18年度の展開

- 「地域再生マネージャー」の招聘
 - 大手総合商社から、現役の商社マンを招聘
 - 市内企業への「目利き」、対岸諸国とのビジネスマッチングを実施
- 「国土施策創発調査」の実施
 - アジア諸都市への連携・交流を支えるシームレスな交通体系に関する調査
 - 北東アジアとの国際フェリー等の実現を探る。